

## 兵庫県 産後ケア事業への参入（2024年度～）

兵庫医科大学病院の産後ケア入院は、出産後のお母さんが安心して体を休め、育児への不安を軽減できるよう支援する入院型の産後ケアです。

関西の大学病院で唯一「産後ケア事業」に参入している医療機関として、大学病院ならではの安心感と専門性を生かしたサポートを行っています。2026年9月からは新病院棟への入院となります。

2024年度は受け入れ体制が十分でなく、尼崎市と西宮市の2市との契約のみだったため、2件の利用にとどまりましたが、2025年度には兵庫県と集合契約を取り交わしたことで利用が大きく広がり、35件のご利用がありました。平均の利用期間は3泊4日程度で、兵庫県下の多くの市から来られて利用されています。

2026年度からは西宮市も集合契約となり、当院の受け入れ体制も緩和し、出産から継続した利用のみならず、一度退院してからも利用していただけるよう院内の環境整備を行いました。

利用者アンケートでは、「ゆっくり休めた」「育児の相談ができて安心した」など、「利用してよかった」という声が大半を占めており、産後の大切な時期を支える取り組みとして高い評価をいただいています。

2026年度には受け入れ条件をさらに拡大し、より多くのお母さんが利用しやすい産後ケア入院を目指す予定です。

### <産後ケア入院受け入れ実績>

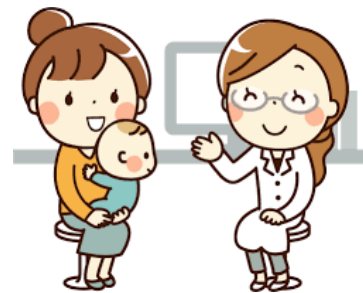
2024年度 2名

2025年度 35名（前年度から17.5倍）、うち多胎分娩3名、要支援での利用3名、初産22名、経産婦5名

利用者の居住地内訳

西宮市 21名、尼崎市 3名、宝塚市 3名、三木市 1名、川西市 1名、伊丹市 3名、

芦屋市 2名、神戸市(自費) 1名



### 《新病院棟からの眺望（10階病棟）》

